

ベージニオ療法

患者番号: 氏名: 性別: 年齢:

がん種 (適応)	乳癌 (ホルモン受容体陽性かつ HER2 陰性の手術不能又は再発乳癌)		
開始年月日	年 月 日	1 コース期間	28 日間 (毎日服用)
体格	身長 cm	体重 kg	体表面積 m ²
嘔気・嘔吐リスク	軽度	制吐剤	なし
特記事項	<p>【相互作用】 ケトコゾール、イトコゾール、クラシロマイシン、ジルチアゼム、ベラパミルなどの CYP3A4 阻害薬、リファンピリンなどの強い CYP3A4 誘導薬は代替を考慮 併用が必要な場合は減量基準が別にあります</p> <p>【血清クレアチニン値の上昇】 血清クレアチニン値の上昇が起りますが腎機能低下ではなく可逆的です。 4 週間を超えて上昇がみられたり蛋白尿・血尿などが発現した場合はシスタチン C などを用いた評価を行ってください</p> <p>【減量方法】 初回 150mg/回 → (1 段階減量) 100mg/回 → (2 段階減量) 50mg/回 → (3 段階減量) 中止</p>		

投与薬剤	投与量	投与スケジュール
ベージニオ	1 回 150mg 1 日 2 回 朝夕食後	連日服用
併用ホルモン剤 ()		

【処方が必要な内服薬】

ベージニオ錠 (150) 2 錠 2×朝夕食後
ロペラミド (1) 2 錠 2× (下痢時開始)
ノバミン (5) 1 錠 1×吐き気がする時 整腸剤も考慮する

- HBs 抗原(+) → **消化器内科紹介**
- HBs 抗原(-) → HBs 抗体(-)and HBc 抗体(-) → HBV-DNA 定量(-) → 3 ヶ月毎 定量
- HBs 抗体(+), HBc 抗体(+), or HBs 抗体(+), HBc 抗体(+), and HBV-DNA 定量(+) → **消化器内科紹介**

指示医師サイン _____